

躍動のヤング

円熟のシルバー

地域交流と文化の祭典開催

第2回「地域交流と文化の祭典」は10月30日、カレッジホールで開かれ、SCハワイアンズを皮切りに18団体がダンス・合唱・マジック・大道芸・銭太鼓などを熱演。150人の観客から盛んな拍手を浴びていました。

グループ わ傘下では13団体が出演。日頃のボランティア活動で鍛えた円熟の演技・演奏を披露、会場を魅了しました。地域の子供たちは5グループが参加。若々しい元気いっぱいのパフォーマンスで会場を沸かせました。

圧巻は津軽三味線の中学2年生・大槻祐希未さん。全国大会レベルという見事な撥さばきで、斉太郎節など4曲を演奏。迫力に圧倒された会場からは「おおーっ」と声が飛ぶほどでしたが、本人は「楽しく弾けましたよ」と冷静でした。

週3回も練習しているというZAPは、舞台狭しと跳ね回るダイナミックなダンス。お母さんの手作り衣装が映えました。「じいじ、ばあばの前で踊れて楽しかった」と。六甲道銭太鼓グループは、銀雅のメンバーとコラボ演奏。鉄人28号の練習に5か月もかけたそうです。



一寸奉仕SCによる南京玉すだれの妙技

ロビーでは書道・絵手紙・俳句の力作や昔遊びの活動を紹介するパネルが展示され、多くの方が足を止めて見入っていました。

小林・文化部会長は「2年目の手ごたえは充分。観客動員に努力してさらに魅力ある祭典にしたい」と意欲を燃やしていました。

【出演・展示団体】SCハワイアンズ・大正琴プリムラ・新舞踊クラブ・マジッククラブ・混声合唱団コーロKS



津軽三味線で熱演する大槻祐希未さん

C・楽遊クラブ銀雅・ボランティアグループわらべ・KSC手話グループ同好会・おはなし糸車・KSCハワイアンズ・KSC民謡クラブ・一寸奉仕・KSC男声合唱団・俳友会・昔あそび研究会・絵手紙グループ・書道。地域グループ=ZAP(ダンス・西区)レインボーキッズ&ティンカーベル(コーラス・須磨区)ひよどり台中学吹奏楽部(北区)大槻祐希未(津軽三味線・垂水区)六甲道児童館銭太鼓クラブ(灘区)

(広報・南形徹 写真・渡邊佳視)

若い感性に引き付けられた

この祭典の催しを見て「やはり若いことはいいことだ」と改めて感じると共に羨ましく感じたものだった。カレッジOBの皆さんの素晴らしい演技や歌声に感心しながらも、若い人たちのパフォーマンスに強く引き付けられた。

色とりどりの振り付けで、とても速いテンポで踊ったZAP(西区)の「子供ダンス」、あんなに小さな子たちがよくぞやったものだ。六甲道児童館銭太鼓グループの演技も銀雅に引けを取らず、小さな身体できびきびと歯切れのよいものであった。レインボーキッズ&ティンカーベルの女の子たちの透き通ったきれいな声にはすっかり聞き惚れてしまった。中学2年生大槻祐希未さんの津軽三味線もイキが良く素晴らしかった。神戸に在住しながらあれ程の技量を積み重ねるには大変な苦労があったことと思われるが、天賦の才能を生かし大いに羽ばたいてほしいと願った。(生環15・池田惇)